

小学校

s 1-11

かたち

1 学年

【ねらい】

身の回りにある立体について観察を通して、図形についての理解の基礎となる経験を豊かにする。

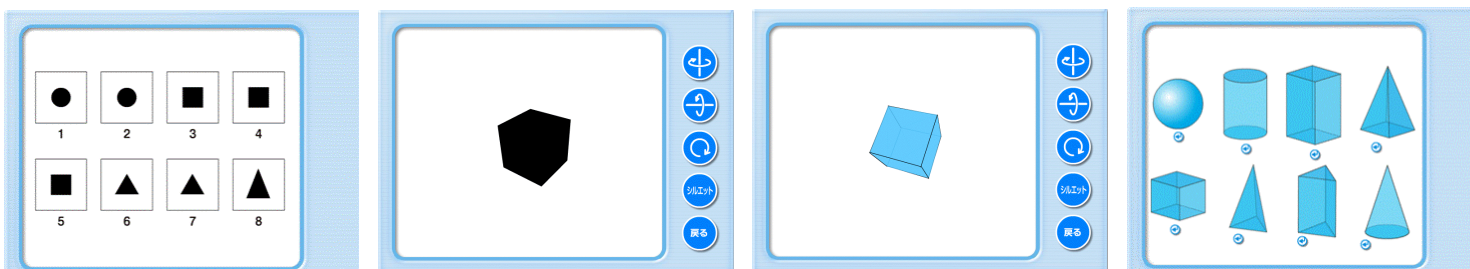
【特徴】

- ◇ 対象の立体を、シルエットと半透明の状態を自由に切り替えることができます。
- ◇ 対象の立体を、回転だけでなく、鉛直方向、垂直方向に回すことができます。

【関連する単元】

- ◇ 小学2年「箱の形」
- ◇ 小学4年「立方体と直方体」
- ◇ 小学5年「角柱と円柱」
- ◇ 中学1年「空間図形」

【活用場面】 算数的活動の後の検証



立体図形やその立体を構成している平面図形の理解の基礎となる経験を豊かにします

多方向への回転だけでなく、シルエットと半透明の状態とを随時切り替えることができるため、特徴的な形(方向)のときに画面を切り替えることによって、より多面的に立体を観察させることができます。

- ◇ 算数的活動を通して、ものの形を認めたり、特徴を捉えたりした後、シルエットの中から立体を選び、形を想像させます。
- ◇ 児童には、想像した形を、前時までの学習で使った言い方(まるいかたち、とんがったかたちなど)などを用いて理由を含めた表現をさせます。
- ◇ また、上記とは逆に、半透明の状態の中から立体を選び、どんな形に見える事があるかを想像しながら提示することもできます。